

必見！北九州市に、コスモスが咲き誇る（約30万本！）河川敷があるんです。



北九州市八幡西区の香月地区にある黒川の河川敷で、コスモス鑑賞会が開かれました。会場には、種をまき、育てた皆さんが一堂に集まり、それぞれが育んだ（はぐくん）コスモスを見比べ、「自分のが一番」と自画自賛。嬉しそうに咲き誇るコスモスを眺めていました。

美しいコスモス畑に隠された悲しい過去とは？



今では名所として知られるこの場所も、10年ほど前は、背の高い雑草が生い茂り、家電ごみや、タイヤなどの不法投棄物が散乱する“立ち入りたくない”場所でした。

ゴミの不法投棄に住民が立ち上がった！

そんな現状を憂いた有志一同が、問題になっている河川敷を「きれいなコスモス畑に変えよう」と立ち上がり、平成13年『ふるさとまちづくりの会』が結成されました。



会の結成と同時に、行政と話し合い、清掃や美化活動を行うことで、約5000平方メートルの広大な土地を無償で借りることができ、約3600平方メートルのコスモス畑は誕生しました。

支援者の輪も広がり、美化意識も高まりました。

最初は会単独で行っていた維持管理も、今では20余りに分けた区画毎に、自治会、保育園、幼稚園、障害者施設など17団体にもものぼる賛同者が、種まきや草取りなど手分けして作業できるようになりました。

大変だった作業は、みなさん口をそろえて“草取り”との答。「河川敷では除草剤が使えず、雑草を1本、1本手で抜くんです。コスモスをきれいに育てるためにも除草は欠かせません」と答えてくれました。



活動10年にして、これだけのサポートが集まりました！
老若男女、幅広い年齢構成で、「小さな子供と交流できてうれしい」「おじいちゃん、おばあちゃんからいろいろなことを教えてもらえて楽しい」との意見もありました。

大変よくできました。会からささやかな感謝の気持ち

コスモスを立派に育てた団体には会から表彰状が贈られました。

表彰された方は、「大変だったが、自分たちで育てたコスモスを眺めると苦労もふきとんだ。また来年も頑張りたい。」と話されていました。



天まで届け！子供達のメッセージをのせて風船は飛んでいく

風船は、広島や熊本にまで届くこと事があるようで、拾った方からうれしい便りをいただくそうです。コスモス畑ができ、ごみの不法投棄がなくなり、まちの環境美化意識の向上にも一役買ったこの取り組み。みなさんも参考にされてはいかがでしょうか。

子どもたちは青空へ飛び立った風船をいつまでもながめていました。

※今回使用した風船は、自然界で分解する素材で出来ており、やがて土に戻ります。





多くのボランティアのみなさん。堀川に対する思いにあふれています。

堀川が流れる北九州市や中間市、水巻町と、住民団体でつくる「堀川まちおこし実行委員会」が、美しい堀川の復活を願って清掃活動を始めたのが11年前。今では多くの賛同者を集め、9月末から流域各地で行われた清掃活動では、延べ約400人が汗を流しました。

その中で、折尾高校から下流のJR折尾駅周辺で実施された取り組みをお伝えします。



オートバイなど大型ゴミを引き上げるのは大変。自転車はなんと70台も見つかりました。

集まったボランティアは、折尾高校の生徒さんをはじめ約300人。ジャージ、胴長などに身を包み川に展開して清掃を行いました。川底にあったビニール片や空き缶などを次々に「掘り出し」たのもつかの間、オートバイ、自転車、看板などの大物まで「発掘」され、引き上げ作業に苦労していました。

しかし、こうしたゴミも年々減る傾向にあり、今ではコイが泳ぐ環境を取り戻しつつあるそうです。主催者は「この活動は、住民や大学生ら若者たちが地域に愛着を持ち、環境について考えるきっかけになっています。」と話していました。



曲川清掃

中間市

10月21日

[詳細はこちら](#)

年に2回の恒例清掃が、中間市の体育文化センター周辺の曲川で、ボランティア約200人が集まって実施されました。中間市の中心部を流れる曲川の、上流にある「曲川源流の水辺の里」では住民団体がほたるの舞う里を目指して環境整備を進めており、「曲川全域に広げていきたい」という思いから、この清掃は始まったそうです。

この結果、切畑橋から鶴王子橋までの河川敷と沿道から今年もたくさんのゴミが集められました。中間市の方のお話によると、「下水道整備が進み、水質は良くなっている」との事ですが、清掃活動に毎回参加されているご近所の方は、「なぜゴミがなくなるのか、とても残念」と話されていました。せっかく水がきれいになっても、ゴミが浮いていては台無しです。ほたるが舞う環境が早く帰ってくることを願っています。



川底に埋まっているゴミも拾い上げます。

木屋瀬河川敷清掃

北九州市

10月21日

[詳細はこちら](#)

長崎街道の筑前六宿のひとつだった北九州市八幡西区木屋瀬地区は、今も宿場町の面影が残り、歴史ある町並みの風情があります。毎年11月の第1日曜日には「木屋瀬宿場まつり」が開催され、県指定無形民俗文化財の「筑前木屋瀬宿場おどり（盆踊り）」が披露され、多くの観光客で賑わいます。今回、気持よく祭を実施するために、木屋瀬地区の遠賀川河川敷において、清掃活動が行われました。



植物の隙間には多くのゴミが隠れています



木屋瀬地区には歴史ある建物が今も多く残ります。ふるさとを守る気持ちで集まりました。



筑前木屋瀬宿場おどり





25回開催の重み。これだけの人が集まってくれました。

「I LOVE 遠賀川」は、川と周辺の環境を守る意識を高めようと、1988年にはじまり、今年で25年を迎えました。

この活動はすでに地域に定着しており、今年も子どもから大人まで約2500人が集まり、徳前大橋から飯塚大橋までの約3キロ区間のごみ拾いや除草に汗を流しました。

開会式で齊藤守史市長が「25年という長い歳月の活動で川がきれいになりました。50年、70年と続けていくことでさらにきれいになります。皆さんのお力をお借りしたい」とあいさつがあり、花火の合図で一斉に清掃にとりかかりました。

浮いているゴミはカヌーで取り除く徹底ぶりで、美しい川面がよみがえりました。



左)まさに人海戦術。一斉に清掃する様子は圧巻です。
中)こんなに大きなゴミ(タイヤ)も捨てられています。
右)浮いているゴミは、カヌー部隊が大活躍！



会場には、遠賀川のゴミの状況を紹介するパネルが設置されていました。参加者は、「下流に溜まっているゴミがすごい。下流の人達が一番困っているのでは」と話されていました。

～石炭を運んだ船“川ひらた”がやって来た～

石炭産業を支え、明治の最盛期には8000隻を超える“川ひらた”が航行していた遠賀川。残存するのは、折尾高校と芦屋町立歴史民俗資料館のみ。そこで、有志により、2010年に原寸大の“川ひらた”が復元されました。

今回、25周年を迎えたお祝いの特別試乗会では、清掃を終えたボランティアの方々を乗せ、優雅にこぎ出しました。



川ひらたも登場。きれいになった河川敷に映えます。

～ 野鳥にとって川で一番危険なものとは ～

早朝には、日本野鳥の会筑豊支部主催による「野鳥観察会」が開かれました。遠賀川は野鳥にとって重要な生息地となっており、冬には大陸から越冬する渡り鳥や、更に南下する鳥などの中継地なので、多様な鳥たちを見ることが出来ます。

観察会の後、野鳥の会からは、「川のゴミは野鳥にとっては天敵です。特に釣具を捨てる人が多く、釣糸がくちばしに巻きついてエサが食べられず餓死したり、釣針で傷つく野鳥が後を絶ちません。本日は野鳥の為に、川をきれいにしてください」とのお言葉がありました。



バードウォッチングは、早朝が良いそうです。野鳥の行動やさえずりが盛んで、特に水辺では多くの種類を見る事ができます。

遠賀川事務所からのお知らせ

“お神輿が川を渡る！” 風治八幡宮 川渡り神幸祭

●位置図



田川市伊田地区番田河原（ばんだごうら）は、福岡県五大祭の一つに数えられる「川渡り神幸祭」で、「クライマックス」となる、お神輿（おみこし）と山車（だし）が”川渡り”を行う重要な場所です。祭の2日間で約10万人が訪れます。

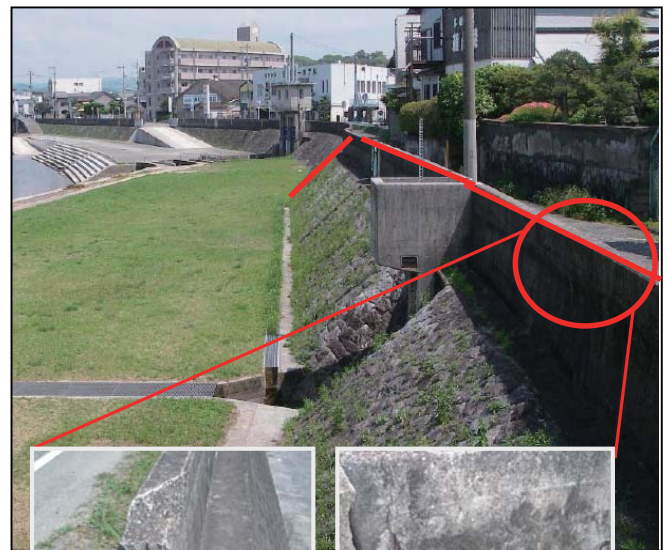
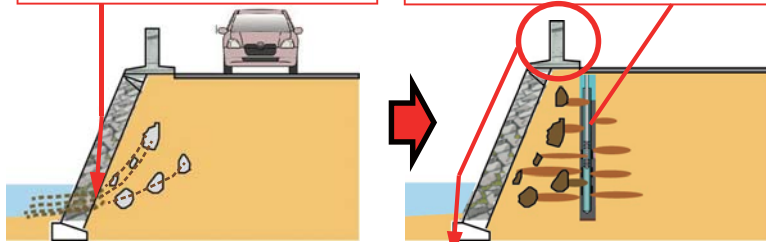
神幸祭にも一役！番田河原のparaペットを新しくしています！

番田河原の堤防は、“paraペット”と呼ばれるコンクリートでできています。しかし、造られてから長い年月が経ち、老朽化によるコンクリートのはがれ、ヒビ、堤防内部の空洞などが生じていました。

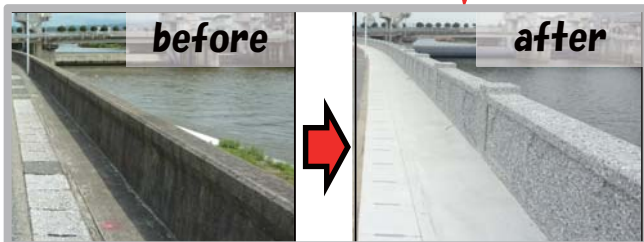
そのため、地域の皆さんのご意見もいただきながらparaペット堤防を順次新しく作りかえており、昨年度は番田橋から新橋までの間の東側、現在はその対岸西側で工事を進めています。皆様には、工事によりご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願い致します。

洪水等により土砂が流れだし地下に空洞ができています

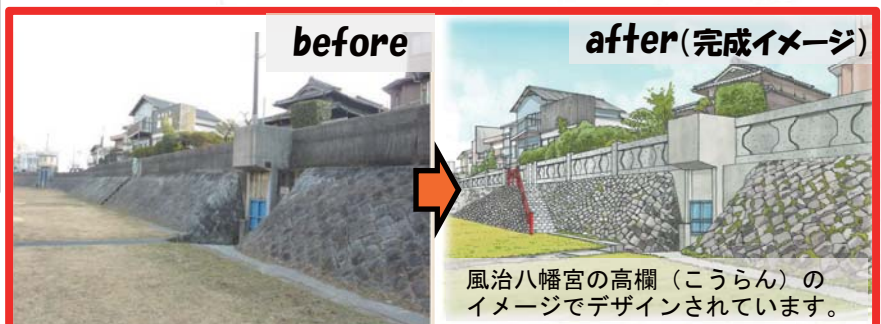
空洞を埋めるために地中で固まる材料(グラウト)を流し込みます。



老朽化によるコンクリートの傷み



これは昨年度に工事した場所の写真です。石のようなたたずまいですが、コンクリートでできています。



12月23日	日	田川市	田川市 川を愛でるタベの灯火	ひこさんがわ夢の会
1月1日	火	嘉麻市	嘉麻市嘉穂 若水くみ 遠賀川源流 ILOVE遠賀川in嘉穂	NPO法人遠賀川流域住民の会
1月20日	日	中間市	第32回ふるさと遠賀川親子たこあげ大会	中間市子ども会育成連絡協議会 中間雲竜風保存会
2月23日	土	北九州市	ほたる教室	香月・黒川ほたるを学生会
2月24日	日	遠賀町	鮭の稚魚放流	遠賀町青少年育成町民会議

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所

住所 直方市溝堀1丁目1-1

電話 (0949) 22-1830

FAX (0949) 22-2859

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会

電話 0948-22-3535

<http://www.ongagawa.jp/>